



田中 紘義



坂井 建太



浦辻 悠生



守谷 信

UNIBOY2016 開催 江戸川大学「Fox=Fox」出演 燃える! 青春

曲目「BABYMETAL」の「メ

黄色い歓声が響き渡る。客席には出演者の友人、ユニドルとして活動している女子大生の姿も。第二回目の大会とは思えないほどの盛況だ。

「UNIBOY2016」が5月24日、ライブハウス・新宿 ReNY で開催された。男子大学生によるアイドルコピーダンス日本一決定戦第一回大会だ。7大学9チーム総勢 34 人のユニボーイで開催された。MC には吉本興業所属の高学歴芸人「田畑藤本」の2人が務めた。

UNIBOY 成功の秘密? 実行委員に聞いてみた。

UNIBOY 実行委員長を務める立教大学2年の田村彩貴さんは、「一人の男子大学生の『UNIDOL の男子版をやりたい!』という一言から UNIBOY は始まりました。6チーム集まらなければイベントはできないという厳しい条件のもとチーム集めを行いました。途中、辞退の申し出などもあり、開催の危機に何度も直面しました。でも、最後には、全チーム全員がそろってステージに立つことができました」という。

また、「UNIBOY たちはとにかく素直で礼儀正しくて、人がよいです。出演者同士の仲のよさが目立ちます。コンテスト形式にも関わらず、ステージを終えたばかりの他チームのパフォーマンスを褒めたり」と成功の理由を話してくれた。「UNIBOY の今後は未定ですが第2回、第3回と開催し大会を大きくしていきたいです」。

「不安や緊張が渦巻いてい

たがフステージに出た瞬間、皆さんの声援で一気に楽しさに変わりました」と息を整えながら田中紘義さん、浦辻悠生さんは「自分たちの精一杯を発揮できてよかったと出来栄を話す。守谷信さんは「疲れたけど面を付け、まさに」と化す。しなやかに踊る3人の狐ど、幣束を振る一人の巫による勢いとキレのあるパフォーマンスに声援が一気に大きくなった。

この他に「冗談じゃないね(まねきケチャ)」「Nerve (Bis)」「YOZORA (アイドルカレッジ)」「SHAKESMAP」「やよならの前に(AAK)」の計6曲を10分間にわたって熱演した。出演後のインタビューで「練習中は何度も衝突し、気持ちをひとつにする難し

さも経験した。そして、本番。公演中の観客の掛け声はグループの士気を高めてくれたと感謝していた。

他大学のチームも、それぞれコンセプトも人数も異なるが、ほとんどの出演者がアイドル活動は初めて。パフォーマンスはもちろん、自己紹介や曲中の掛け声などは本物のアイドルよう。観客には曲に合わせて遠隔操作で自動的の色が変わるペンライトが配布され、さらに一体感が生まれ

た。全力でパフォーマンスを送るユニボーイと声援を送りながら楽しむ観客たち。「まさに青春」。熱狂できらびやかな演出が、観客たちを魅了している!

「不安や緊張が渦巻いてい

たがフステージに出た瞬間、皆さんの声援で一気に楽しさに変わりました」と息を整えながら田中紘義さん、浦辻悠生さんは「自分たちの精一杯を発揮できてよかったと出来栄を話す。守谷信さんは「疲れたけど面を付け、まさに」と化す。しなやかに踊る3人の狐ど、幣束を振る一人の巫による勢いとキレのあるパフォーマンスに声援が一気に大きくなった。

この他に「冗談じゃないね(まねきケチャ)」「Nerve (Bis)」「YOZORA (アイドルカレッジ)」「SHAKESMAP」「やよならの前に(AAK)」の計6曲を10分間にわたって熱演した。出演後のインタビューで「練習中は何度も衝突し、気持ちをひとつにする難し